

に義とせらるるの唯一の道を発見し、その喜びに耐えずして彼を信じた者は、かかる者は、よし宇宙は消え失(う)するとも、永遠より永遠まで彼を捨てない。(1916年3月『聖書の研究』、著作集第12巻)

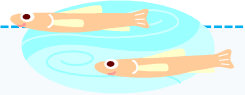
「この人による以外に救はない。わたしたちを救いうる名は、これを別にしては、天下のだれにも与えられていないからである」(使徒4:12)。この福音に与り、救いを体験したわたしたちが、今度は、この福音をたずさえて、求道中の方々のこころの友となり、愛と祈りを持って、この人生最高の宝をお届けする。これがまず、第一条ですね。

横山義孝先生がユースのキャンプでメッセージを取次いだとき、「クリスチャンの本業は、伝道です。この世の仕事は副業です。」と語られたことを、娘が帰って報告したことがありました。全てのキリスト者の使命は「福音の宣教」です。復活の主イエスは語られました。「すべての造られた者に福音を宣べ伝えよ」とあります。ハレルヤ!



こらむ

## メダカ



Fさんからメダカをいただく約束をしていましたので、前日に水槽に水を張り、お待ちしていました。

Fさんはタッパーにメダカを入れて持ってきてくださいました。そのタッパーに、私が前日準備していた水を手ですくって入れられたので、その理由を伺うと、水の温度を調整するため、とのことでした。水槽の水とFさんが持ってこられたタッパーの水と比べて、水温はあまり変わらないように思えました。でも、Fさんは、そのタッパーをすっぽり水槽に沈めて、メダカを放たれました。タッパーの水と水槽の水との温度差を思ったとのことでした。

その時、私達と求道者との関係も、そのような気配りの必要性を感じました。その人のようになり、和合することの大切さです。

聖書にも「ユダヤ人にはユダヤ人のようになりました。ユダヤ人を得るためです。」

(1コリント9章20節)とあります。

(潤子)